

肉体概念

Physical Concept

木森圭一郎

Keiichiro Kimori

造形芸術学科



本作は私が2016年頃より継続して制作している「肉体概念」シリーズの一作である。

私は人の肉体をライフワークに絵画を描いてきた。その表現は人の背面を逆光で描いた比較的具体的なイメージから始まり、その後少しずつ黒っぽいシルエットとして描かれるようになった。それは絵画表現における抽象化の過程を、私なりのやり方で再検証する様でもある。しかしながら、このような行為の結果によって描き出された形態を、「抽象画」といった言葉の範疇で説明することが憚られ、自らの表現を何と定義するのかが、ここ数年の課題であった。

私の表現とは、多くの抽象的美術表現がそうであるように、ある事象について視覚的に構成する要素を抽出し再構成した結果、簡潔な形態に落とし込まれているといったものではない。脳裏に具体的に存在していたイメージを、キャンバスに描き、塗り重ねていく行為によって、第三者に示してしていくものなのである。私はその様な自らの表現を、「概念の絵画」とであると定義した。概念という言葉自体に「共通のものから同様のものを抜き出す」という「抽象」と似た意味も含まれるが、そこから「同類のものに対していただく意味内容」を構成することを目指すという意味で、私の表現は人の肉体の概念化なのだと考えている。

1620×1620×300mm 混合技法 2022年制作 第29回アジア美術家連盟日本委員会展 2022年12月

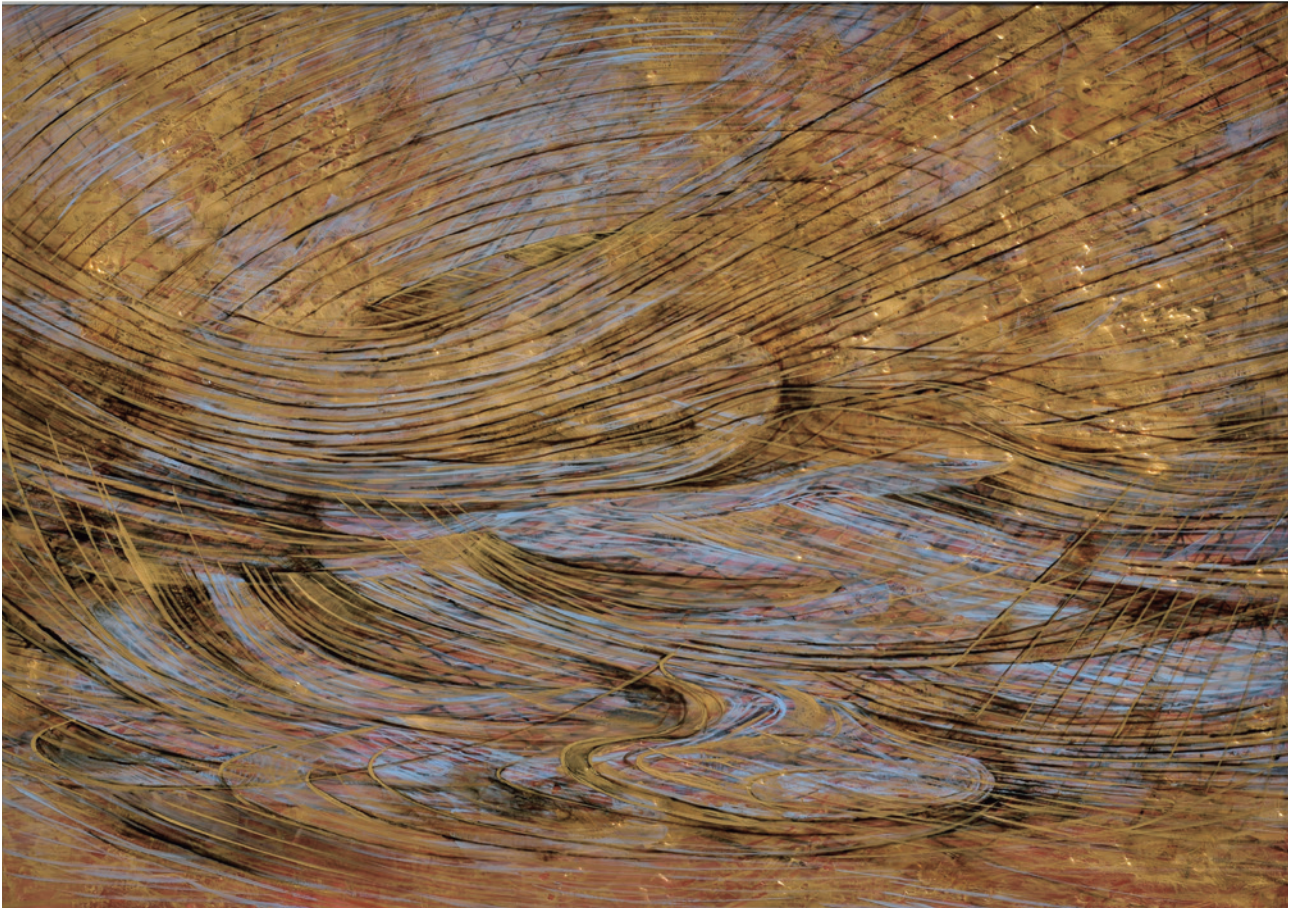
ユニバース

UNIVERSE

木森圭一郎

Keiichiro Kimori

造形芸術学科



本作は福岡市が企画したFukuoka Wall Art ProjectにてFukuoka Wall Art賞を受賞したもの。主催者より提示されたテーマ「福岡の人やまちに力を与えてくれるアート」を念頭に、福岡に住む我々に力を与えてくれるものとして、海や空、山といった、福岡の自然を金の描線によって象徴的に描いた。

520×740×40mm 混合技法 2022年制作 Fukuoka Wall Art賞2022 2022年8月